

「能美ふるさとミュージアム」の ロゴマークが決定しました！



決定したロゴマーク



能美ふるさとミュージアムの外観

10月17日のオープンに向けて、準備を進めている能美市の新しい総合博物館「能美ふるさとミュージアム」のロゴマークが決定しました。能美市誕生15周年に合わせての開館であるため、今年度に15歳を迎える市内の中学生に意見を聞き、採択しました。

玄関口や出発点を意味する「ゲート」をイメージしたデザインは、能美を英語表記した際の頭文字である「n」、隣接する和田山をはじめとした能美を代表する古墳群をイメージしたものとなっており、カラーの緑は、和田山など能美の豊かな自然を表現した色合いです。

能美ふるさとミュージアムは「郷土の豊かな自然と悠久の歴史とともに学び、守り、伝え、よりよき未来を育む博物館」という基本理念を持っています。ロゴマークには、能美ふるさとミュージアムで学んだことをきっかけに市内を巡ってもらい、郷土愛を育み、郷土の豊かさを再発見してほしいという思いが込められています。

ロゴマークは今後、能美の歴史・自然について学ぶことのできる施設としてアピールするため、看板やパンフレットなどに使用していく予定です。

ゲートの内側を少しだけ…

ロゴマークの決定を記念して、ゲートの内側、能美ふるさとミュージアムの館内を少しだけご紹介します！



こどもミュージアム のみつけ



小さなお子様も楽しめる「のみつけ」

「こどもミュージアム のみつけ」は能美の自然や歴史をテーマにした遊具が設けられ、小さなお子様も遊びながら能美の魅力を学べるみたいだば！
ぼぼ能も楽しみば〜♪



テーマ展示室



展示室「能美の誕生」



展示室「電化製品が広まる前の暮らし」

メインの展示スペースであるテーマ展示室は「能き美しき能美の自然」「能美の誕生」「白山曼荼羅図が描かれた時代」「能美電が走っていた時代」「電化製品が広まる前の暮らし」の5つのテーマで、能美の自然、歴史、民俗についてご紹介。小さなお子様から、年配の方まで幅広い年齢の方にお楽しみいただけるよう、工夫をこらしているらしいのだ。



「SDGs 未来都市」に選定されました！



令和2年7月17日、内閣府から、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向け、先導的に取り組む「未来都市」として、能美市が選ばれました。市民の皆さんと力を合わせ、能美のポテンシャルをいかに発揮し「誰もが活躍できる豊かな能美暮らし」を実現することで、新しい人の流れを引き寄せ、いつまでも暮らし続けられるまちを目指してまいります。

SDGsの推進と検証 2大学と相互連携協定を締結



左から JAIST 山本教授、JAIST 寺野学長、井出市長、九州大学 馬奈木センター長、番匠副市長

8月3日、能美市と北陸先端科学技術大学院大学産学官連携本部、九州大学都市研究センターが能美市のSDGsの推進と検証を行うため、相互連携協定を締結しました。国や地域の豊かさを示す新たな経済指標として九州大学都市研究センターが提案する「新国富指標」を今後、能美市が地域社会の発展のために取り組むまちづくりが持続可能かどうかを測る指標として活用します。

調印式にあたり、井出市長は「全市民がSDGsの意味や大切さを理解し、SDGsの目標達成を推し進めていくために、二つの大学の力をお借りし、地域力、市民力を高めこれからの時代を力強く生き抜くまちを目指したい」とあいさつしました。

調印式では、北陸先端科学技術大学院大学寺野学長、同大学産学官連携センター山本外茂男センター長が出席し、九州大学の馬奈木俊介都市研究センター長はリモートで参加しました。

懸垂幕を掲げ「未来都市」をPR

調印式終了後、「豊かな能美暮らしを未来へつなごう！」と呼び掛ける懸垂幕を、能美市役所本庁舎、能美市消防本部、根上総合文化会館の3か所に設置しました。



SDGsってなあに？

なんと読むの？

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略です。読み方はエスディーゼズ。日本語では「持続可能な開発目標」と言います。

いつできたの？

平成27年9月、ニューヨークの国連本部で「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」=SDGsが採択されました。

SDGsとは？

みんなが、ずっと豊かな暮らしができるように、令和12年(2030年)までに世界の課題を世界で解決するための17の目標です。

【17のゴール(目標)】



ゴール達成のために、能美市が取り組んでいく「能美お人柄プロジェクト」については、今後の広報で紹介していくのだ。



第76回現代美術展 能美展を初開催 九谷焼美術館のロゴを開場式で発表

県内最大級の美術公募展「現代美術展」の巡回展「能美展」が、能美市九谷焼美術館「五彩館」浅蔵五十吉記念館」で開催されました。市内での現代美術展の開催は初めてです。

8月11日、五彩館で開場式が行われ、主催の石川県美術文化協会、川北町や北國新聞社の関係者など約30人が出席し、テープカットを行いました。井出市長の主催者挨拶では、同日より九谷陶芸村内の関連4



能美市での初開催をお祝いました。



九谷焼美術館ロゴマーク
K A Mは、The Kutani porcelain Art Museumの頭文字です。

施設の総称となった「能美市九谷焼美術館」のロゴマークの発表も行いました。展示は8月23日まで開催されました。



全6部門103点の力作が展示されました。

物見山陸上競技場の写真判定装置を 更新しました

物見山陸上競技場の写真判定装置を更新しました。

写真判定装置は、大会や記録会など全てのトラック競技の判定に使用するもので、ゴールライン付近に設置したスリットカメラにより、選手がフィニッシュした瞬間を最高1/2000秒の精度でとらえます。

これにより、選手がすべてをかける勝負の判定を正確に行うことができます。

また、計測した記録が公認の記録として認められるための重要な装置であり、スリットカメラで撮影された写真により行う記録の測定は、1/1000秒まで高精度に行うことが可能です。

写真判定装置は今年度の独立行政法人日本スポーツ振興センター助成事業として購入し、写真判定装置、ケーブル等付属品を含めた購入費は1千44万1200円で、同センターより助成金480万円（交付内定額）が交付されます。



更新された写真判定装置



予約・施設利用についての問い合わせ
能美市物見山総合体育館
(☎ 51 - 6460 ☎ 51 - 6466)

市施設の使用電力効率化のために 省エネセミナーを開催

市施設の電気をより効率的に使用するための省エネセミナーを能美市役所で開催しました。

セミナーは7月21日と30日の2回開催しました。21日は市内小中学校、30日は市内公共施設の管理担当者を対象に行い、どちらも北陸電力株式会

社の社員の方に講師をしていただきました。

セミナーでは、講師が施設の過去の使用電力データを元に分析を行い、受講者は具体的な対策の提案など効率的な電気の使い方を学びました。



セミナーを受講する様子

石川県消防防災航空隊との 合同山岳救助訓練を実施しました

8月6日、和佐谷町山林で、能美市消防本部と石川県消防防災航空隊との合同山岳救助訓練を実施しました。

訓練は山林の斜面で伐採作業中の事故で1名の要救助者が発生したという想定で行われました。

航空隊と連携し、現場直近へ救助隊員を投入。その後、資機材の輸送、要救助者の救出、救急救命士の搭乗を行いました。

今回の訓練で航空隊との連携訓練を含む山岳救助体制の強化を図ることができました。



訓練の様子

能美市戦没者慰霊式を開催

8月7日、和田山霊碑前で能美市戦没者慰霊式を開催しました。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、井出市長、居村議長、遺族会役員ら9名の参列者が日清戦争以降に戦没した976柱のご英霊の冥福を祈りました。

井出市長が式辞、杉田隆一遺族会長が追悼の言



式辞を述べる井出市長

葉を述べ、その後追悼法要を行いました。

ふるさと石川環境保全功労者表彰

地域の環境保全に貢献し、顕著な功績があったとして、能美市民環境ネットワークが令和2年度ふるさと石川環境保全功労者表彰を受けました。

7月2日、石川県庁で表彰式が行われ、東浩一会長が谷本知事から表彰状を受け取りました。



東浩一会長

地域福祉のためにご寄附 有限会社花市に感謝状

有限会社花市から地域福祉充実のために45万円の寄附をいただきました。

7月16日、杉浦道子代表取締役が市役所を訪れ、「今年創業45周年を迎えるにあたり記念として、能美市の地域福祉に役立ててほしい」と井出市長に寄附金の目録を手渡しました。井出市長は「コロナで大変な時期に寄附をしていただき、ありがとうございます。大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。



目録を手渡す杉浦代表取締役

感染症対策のためにご寄附 南加賀生コンクリート協同組合に感謝状

南加賀生コンクリート協同組合から能美市へ50万円の寄附をいただきました。

8月3日、村井啓介代表理事らが市役所を訪れ、井出市長が寄附金の受納と、感謝状の贈呈を行いました。村井理事は、「こんな時だからこそ、地元地域の方に恩返しをしたい」と話し、井出市長は、「徐々に感染者が増えている中、マスクや体温計など、感染症の未然防止策に活用させていただきます」とお礼を述べました。



左から、脇田理事、寺西副理事長、村井代表理事、井出市長、吉本副理事長

安全に楽しむために 花火の防火指導を実施しました

8月9日、能美市防災センター駐車場で、幼年消防クラブ員（保育園児）を対象とした花火の防火指導を実施しました。

指導では、消防職員が講師となり、「花火を人に向けない、振り回さない、1本ずつ遊ぶ、火が消えたら近くのバケツに入れる」など、花火をする際の注意点を説明しました。

園児たちは注意点を意識しながら花火を楽しみ、防火の大切さを学びました。



実際に花火を使用して注意点を確認しました。

祝百寿 いつまでもお元気で 亀田さんおめでとうございます

8月1日、亀田ちさとさん（中町）がめでたく100歳を迎えられ、お祝い状と記念品が贈呈されました。

亀田さんはお寿司が好きで、長生きの秘訣は入所している施設の職員の人と仲良くお話ししたり、いつも笑っていることだと教えてくれました。

娘さんから「100歳のお誕生日おめでとう。これからも長生きしてね」と声を掛けられると、笑顔でうなずいておいでました。



記念撮影する亀田さんとそのご家族